

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 24 週（6 月 10 日～6 月 16 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	6 人 類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 5 人 血清型 O157 2 人、O128 2 人、 O168 1 人、O 不明 1 人
四類感染症 E 型肝炎	4 人 推定感染地域 国内 4 人
レジオネラ症	5 人 病型 肺炎型 5 人
五類感染症 ウイルス性肝炎	2 人 病型 B 型 2 人
急性脳炎	3 人 病原体 パラインフルエンザウイルス 1 人、 不明 2 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A 群 1 人、B 群 1 人、 G 群 1 人
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 人
侵襲性肺炎球菌感染症	4 人
梅毒	12 人 病型 早期顕症Ⅰ期 6 人、 早期顕症Ⅱ期 4 人、 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	4 人 年齢階級 4 歳 2 人、6 歳 1 人、 30 歳代 1 人
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症(4. 91→5. 07: 図 1) の定点当たり報告数は、第 19 週以降、緩やかな増加傾向にある。保健所別では、前週に引き続き幸手 (10. 36) 保健所管内からの報告が特に多く、草加 (8. 16)、鴻巣 (7. 32) 保健所管内からの報告も多い。基幹定点における入院患者の報告は 28 人 (前週 34 人) であった。手足口病 (2. 40→4. 28: 図 2-1, 2) の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。県内全保健所管内で前週の値を上回っており、特に本庄 (8. 25) 保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 1 歳からの報告が最も多く、約 39% となっている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (4. 87→4. 84: 図 3-1, 2) の定点当たり報告数は、前週に引き続き高い水準にある。保健所別では、春日部 (15. 83) 保健所管内からの報告が特に多く、南部 (10. 00)、幸手 (8. 78) 保健所管内からの報告も多い。ヘルパンギーナ(0. 51→0. 90: 図 4) の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、川口市 (2. 46) 保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 4 人、流行性角結膜炎 47 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 7 人、インフルエンザ入院 2 人の報告があった。マイコプラズマ肺炎の報告数は 2 週連続で増加した (1 人→5 人→7 人)。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧いただけます。

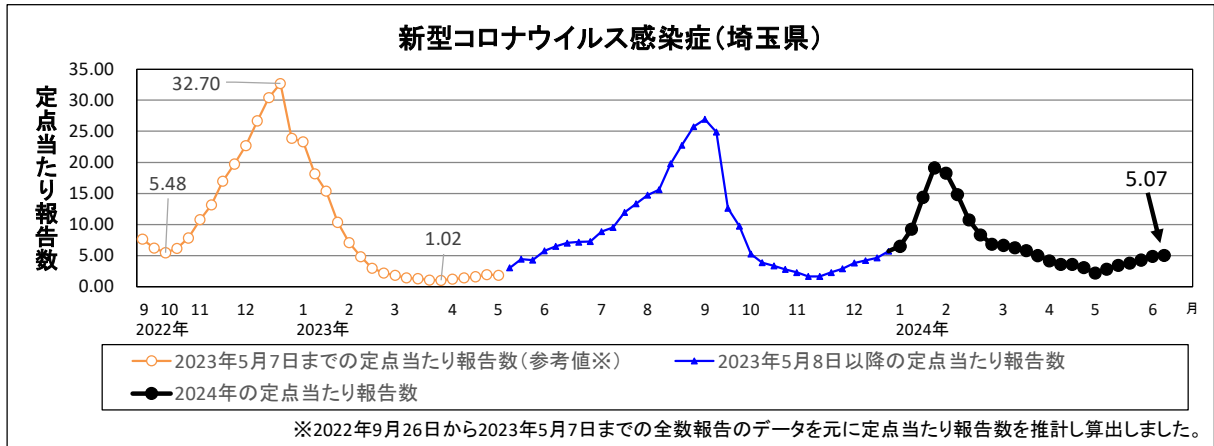
埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当

TEL:0493-59-9325 FAX:0493-59-9613 e-mail:p5349952@pref.saitama.lg.jp

URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/>

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第24週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

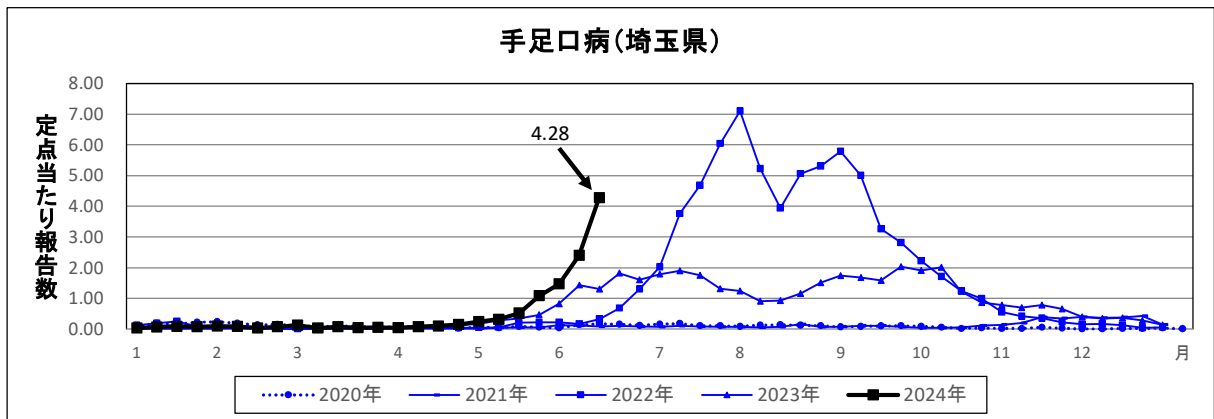


図2-2 手足口病の保健所別流行状況の推移（2024年第22週～第24週）

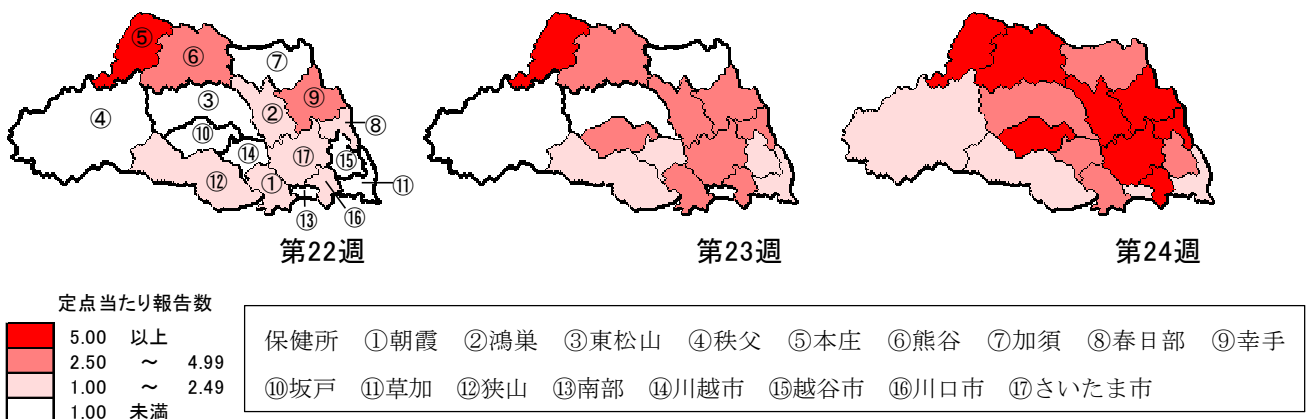


図 3-1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

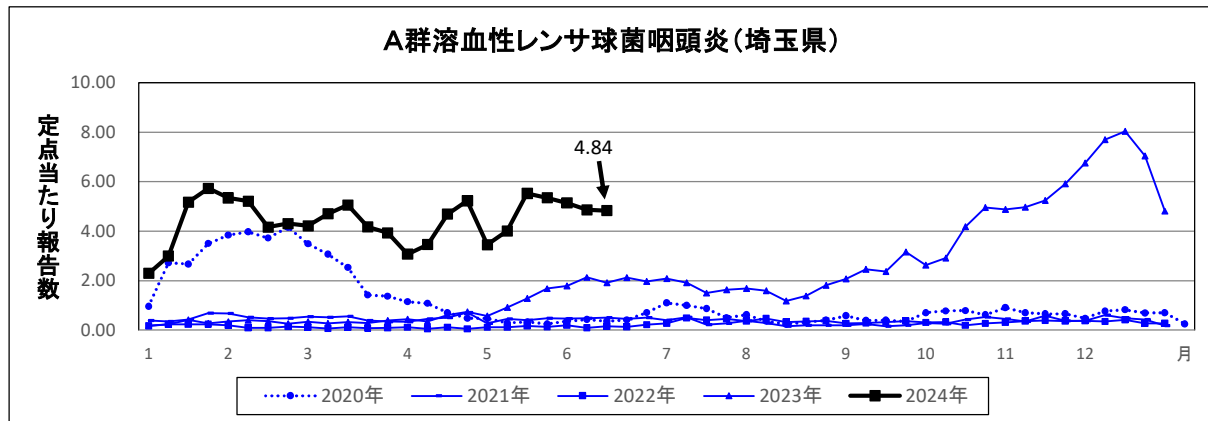


図 3-2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 22 週～第 24 週)

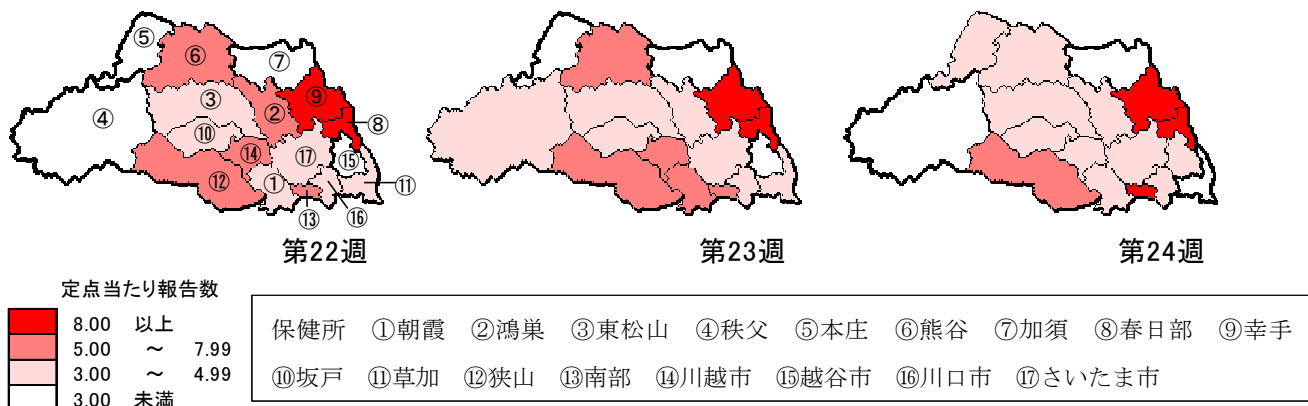
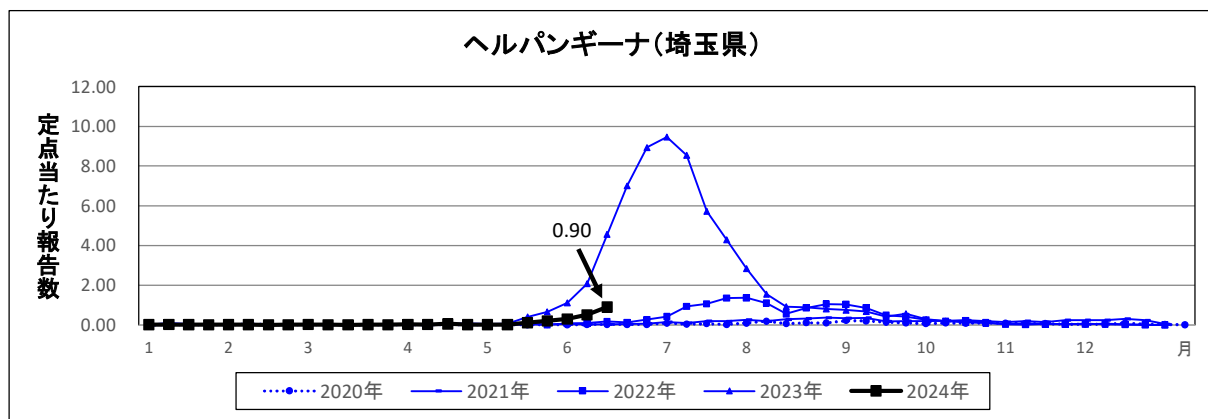


図 4 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第24週)

(2024年6月18日 15:15集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	57			
四類感染症					
E型肝炎	4	22	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	5	46
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		12	侵襲性肺炎球菌感染症	4	49
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	2	6	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		36	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	12	198
急性脳炎	3	13	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	70	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		16	百日咳	4	28
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	12	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	2

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年5月分)

2024年5月の届出総数は、患者39人、無症状病原体保有者11人の計50人であった。前月と比べると患者数は増加し、無症状病原体保有者数は減少した。過去1年と比べると、患者数は同水準で、無症状病原体保有者数は少なかった。推定感染地域は国内28人、国外6人、不明16人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年5月～2024年5月)

	2023年*								2024年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	累計**
総計	62	67	57	59	62	50	59	76	69	72	55	53	50	299
年齢階級														
10歳未満	2	4	1	1	0	0	0	5	2	1	1	2	2	8
10歳代	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	1	1	4
20歳代	3	7	14	5	6	3	2	8	2	6	8	7	6	29
30歳代	5	1	1	3	2	3	6	7	9	6	1	3	2	21
40歳代	2	5	2	1	3	2	4	3	4	8	6	5	5	28
50歳代	7	6	5	5	10	5	10	5	6	9	5	6	5	31
60歳代	8	8	9	5	10	10	8	12	6	12	3	3	6	30
70歳代	11	12	14	19	7	10	8	10	16	10	12	11	9	58
80歳代	18	17	7	16	17	15	17	17	19	14	15	9	12	69
90歳以上	6	6	3	4	6	1	3	9	5	4	4	6	2	21
性														
男	34	38	38	40	40	29	39	44	36	48	30	27	26	167
女	28	29	19	19	22	21	20	32	33	24	25	26	24	132
類型														
患者	46	35	47	49	49	34	42	41	46	43	36	37	39	201
感染症死亡者の死体	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
無症状病原体保有者	16	31	10	10	13	16	17	35	22	28	19	16	11	96
病型														
肺結核	29	27	37	35	38	28	26	31	31	30	20	22	23	126
肺結核及びその他の結核	6	5	3	7	2	2	7	5	5	2	3	5	4	19
その他の結核	11	4	7	7	9	4	9	5	10	11	13	10	12	56
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
無症状病原体保有者	16	31	10	10	13	16	17	35	22	28	19	16	11	96
推定感染地域														
国内	38	41	27	37	42	31	35	50	47	37	25	34	28	171
国外	3	3	11	5	4	1	6	3	3	8	4	6	6	27
不明	21	23	19	17	16	18	18	23	19	27	26	13	16	101

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

5月に診断された50人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計23人の報告があり、60歳代以上が18人で約78%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年5月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	23	4	12	0	11	50
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	3	1	1	0	1	6
30歳代	1	0	1	0	0	2
40歳代	0	0	2	0	3	5
50歳代	1	0	2	0	2	5
60歳代	5	0	1	0	0	6
70歳代	3	2	2	0	2	9
80歳代	8	1	3	0	0	12
90歳以上	2	0	0	0	0	2

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第24週

6月10日~6月16日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1																				
全 県	報告数	38	1,322	139	152	793	916	62	702	17	47	148	23	4	47	-	-	7	-	-	2	28
	定点当たり	0.15	5.07	0.85	0.93	4.84	5.59	0.38	4.28	0.10	0.29	0.90	0.14	0.10	1.12	-	-	0.58	-	-	0.17	2.33
朝 霞	報告数	3	107	7	4	64	92	12	64	-	6	20	1	1	3	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.13	4.65	0.47	0.27	4.27	6.13	0.80	4.27	-	0.40	1.33	0.07	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	3.00
鴻 巣	報告数	8	139	2	23	51	51	1	73	-	3	16	4	-	6	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.42	7.32	0.17	1.92	4.25	4.25	0.08	6.08	-	0.25	1.33	0.33	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	-	25	-	-	15	37	-	21	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	-	3.13	-	-	3.00	7.40	-	4.20	-	-	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
秩 父	報告数	-	22	5	1	6	1	-	4	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	4.40	1.67	0.33	2.00	0.33	-	1.33	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	1	12	2	-	12	1	5	33	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.14	1.71	0.50	-	3.00	0.25	1.25	8.25	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
熊 谷	報告数	2	60	3	10	34	42	1	43	1	2	12	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.15	4.62	0.38	1.25	4.25	5.25	0.13	5.38	0.13	0.25	1.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	3.00
加 須	報告数	1	14	1	1	12	2	-	15	-	3	2	1	-	3	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.10	1.40	0.17	0.17	2.00	0.33	-	2.50	-	0.50	0.33	0.17	-	3.00	-	-	-	-	-	-	4.00
春 日 部	報告数	-	66	8	9	95	46	-	33	-	-	6	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	-	6.60	1.33	1.50	15.83	7.67	-	5.50	-	-	1.00	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	3	145	18	21	79	20	1	46	2	1	2	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.21	10.36	2.00	2.33	8.78	2.22	0.11	5.11	0.22	0.11	0.22	0.11	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	-	40	2	6	24	54	-	31	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	4.00	0.33	1.00	4.00	9.00	-	5.17	-	0.17	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
草 加	報告数	6	155	4	13	32	77	2	29	2	3	14	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.32	8.16	0.33	1.08	2.67	6.42	0.17	2.42	0.17	0.25	1.17	0.08	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	3	122	18	18	109	49	2	29	-	6	1	1	3	5	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.12	4.88	1.13	1.13	6.81	3.06	0.13	1.81	-	0.38	0.06	0.06	0.60	1.00	-	-	-	-	-	-	2.00
南 部	報告数	-	45	33	13	50	57	-	10	-	2	2	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-
	定点当たり	-	5.63	6.60	2.60	10.00	11.40	-	2.00	-	0.40	0.40	0.20	-	1.00	-	-	2.00	-	-	-	-
川 越 市	報告数	2	40	3	1	36	27	11	22	-	3	6	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.14	2.86	0.38	0.13	4.50	3.38	1.38	2.75	-	0.38	0.75	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	4	82	7	4	25	43	5	28	-	4	9	1	-	-	-	-	2	-	-	-	1
	定点当たり	0.31	6.31	0.88	0.50	3.13	5.38	0.63	3.50	-	0.50	1.13	0.13	-	-	-	-	2.00	-	-	-	1.00
川 口 市	報告数	3	114	8	12	58	112	7	67	11	1	32	1	-	9	-	-	1	-	-	-	3
	定点当たり	0.15	5.70	0.62	0.92	4.46	8.62	0.54	5.15	0.85	0.08	2.46	0.08	-	2.25	-	-	1.00	-	-	-	3.00
さいたま市	報告数	2	134	18	16	91	205	15	154	1	12	22	5	-	15	-	-	2	-	-	-	7
	定点当たり	0.05	3.12	0.64	0.57	3.25	7.32	0.54	5.50	0.04	0.43	0.79	0.18	-	1.67	-	-	2.00	-	-	-	7.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第24週 6月10日～6月16日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	38	-	-	-	-	1	2	-	2	1	1	2	2	9	6	3	1	3	4	-	1	
新型コロナウイルス感染症	1,322	6	11	22	7	5	8	5	6	6	13	9	125	135	169	145	189	174	120	91	76	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	139	18	30	50	25	10	4	1	-	-	-	1	-	-	-							
咽頭結膜熱	152	-	12	41	21	24	21	14	10	4	2	1	1	-	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	793	-	7	24	57	79	82	87	83	73	71	71	118	10	31							
感染性胃腸炎	916	4	48	100	83	85	88	101	67	69	66	37	106	15	47							
水痘	62	-	1	2	1	2	4	5	2	10	10	10	15	-	-							
手足口病	702	4	76	272	141	71	66	44	16	4	4	2	1	-	1							
伝染性紅斑	17	-	-	1	-	2	4	2	2	3	2	-	1	-	-							
突発性発しん	47	-	13	22	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	148	-	15	46	32	19	15	12	2	4	1	-	2	-	-							
流行性耳下腺炎	23	-	-	-	2	3	2	4	1	3	2	1	5	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	
流行性角結膜炎	47	-	-	1	-	4	1	1	2	-	1	4	2	2	5	12	3	4	2	3		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	7	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	28	1	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	1	-	1	-	20					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第22週 (5月27日～6月2日)

令和6年6月19日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.68)、茨城県(0.89)、宮城県(0.37)、島根県(0.37)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は25例と前週と比較して減少した。都道府県別では13都道府県から報告があり、年齢別では1～9歳(5例)、10代(2例)、20代(2例)、50代(2例)、70代(7例)、80歳以上(7例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(19.74)、鹿児島県(7.11)、北海道(5.44)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,260例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(31例)、1～9歳(29例)、10代(10例)、20代(16例)、30代(29例)、40代(40例)、50代(72例)、60代(118例)、70代(312例)、80歳以上(603例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.63)、和歌山県(3.30)、山口県(3.16)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.74)、岩手県(2.35)、北海道(2.07)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(10.79)、山形県(10.57)、北海道(9.29)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(13.31)、石川県(8.21)、兵庫県(7.54)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は群馬県(8.67)、福井県(8.36)、鹿児島県(8.04)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は高知県(2.28)、群馬県(1.44)、愛媛県(1.30)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は埼玉県(0.13)、長野県(0.13)、滋賀県(0.11)、大分県(0.11)である。

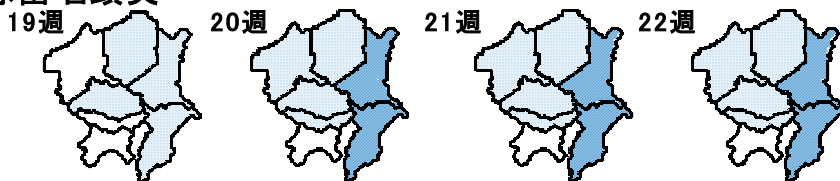
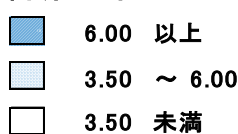
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.00)、香川県(1.00)、大阪府(0.94)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で増加した。11都道府県から16例報告があり、年齢別では1～4歳(7例)、5～9歳(7例)、10代(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第22週(5月27日～6月2日): 通巻第26巻 第22号 より

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、千葉県(6.82)、茨城県(6.20)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



2024年 22週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	949	299	107	1	6	45	47	53	40
	定点当たり	0.19	0.20	0.89	0.01	0.07	0.17	0.24	0.13	0.11
新型コロナウイルス感染症	報告数	17,401	5,827	466	273	251	1,115	961	1,412	1,349
	定点当たり	3.52	3.82	3.88	3.59	2.95	4.29	4.81	3.37	3.71
RSウイルス感染症	報告数	4,104	882	78	34	17	197	136	242	178
	定点当たり	1.31	0.92	1.04	0.71	0.33	1.20	1.11	0.92	0.77
咽頭結膜熱	報告数	2,641	620	76	26	54	135	65	144	120
	定点当たり	0.84	0.65	1.01	0.54	1.04	0.82	0.53	0.55	0.52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	15,208	4,391	465	238	233	843	839	992	781
	定点当たり	4.85	4.59	6.20	4.96	4.48	5.14	6.82	3.76	3.40
感染性胃腸炎	報告数	15,056	4,253	200	134	273	863	610	1,258	915
	定点当たり	4.80	4.45	2.67	2.79	5.25	5.26	4.96	4.77	3.98
水痘	報告数	694	232	8	7	3	47	42	54	71
	定点当たり	0.22	0.24	0.11	0.15	0.06	0.29	0.34	0.20	0.31
手足口病	報告数	9,074	1,891	61	96	451	241	219	457	366
	定点当たり	2.89	1.98	0.81	2.00	8.67	1.47	1.78	1.73	1.59
伝染性紅斑	報告数	191	149	-	4	3	20	11	85	26
	定点当たり	0.06	0.16	-	0.08	0.06	0.12	0.09	0.32	0.11
突発性発しん	報告数	1,076	355	13	23	20	71	42	86	100
	定点当たり	0.34	0.37	0.17	0.48	0.38	0.43	0.34	0.33	0.43
ヘルパンギーナ	報告数	1,376	337	12	27	75	50	43	86	44
	定点当たり	0.44	0.35	0.16	0.56	1.44	0.30	0.35	0.33	0.19
流行性耳下腺炎	報告数	206	84	7	2	2	22	11	18	22
	定点当たり	0.07	0.09	0.09	0.04	0.04	0.13	0.09	0.07	0.10
急性出血性結膜炎	報告数	23	12	-	-	-	8	1	-	3
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	0.19	0.03	-	0.06
流行性角結膜炎	報告数	505	224	37	5	2	44	22	20	94
	定点当たり	0.73	1.08	2.18	0.42	0.14	1.05	0.65	0.51	1.88
細菌性髄膜炎 #2	報告数	13	3	-	-	-	-	2	1	-
	定点当たり	0.03	0.03	-	-	-	-	0.22	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	13	2	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	-	-	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	112	18	6	1	1	1	-	5	4
	定点当たり	0.23	0.21	0.46	0.14	0.11	0.08	-	0.20	0.33
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	16	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.03	0.01	-	-	-	0.08	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(streptococcal toxic shock syndrome : STSS)は、感染症法で定められている五類感染症全数把握の対象疾患です。1987 年に米国で最初に報告され、日本では1992 年に初めての症例が報告されています。症状は四肢の疼痛から始まり数十時間内に急性腎不全、手足の壊死、それに伴うショック、多臓器不全などを併発します。

埼玉県における STSS の報告数は、2021 年 30 人、2022 年 41 人、2023 年 64 人と増加傾向にあり、2024 年はすでに 68 人 (2024 年 23 週まで) となっています。2019 年から 2024 年の年齢階級別の患者数と届出時の死亡者数は表のとおりです。届出時死亡率は 13%から 40%と年によってばらつきがありました (表)。

表 STSS の年齢階級別患者数と届出時死亡者数

	2019	うち死亡	2020	うち死亡	2021	うち死亡	2022	うち死亡	2023	うち死亡	2024	うち死亡
0-9			1						4	1		
10-19												
20-29	1								3			
30-39			1		1	1			8	3	4	
40-49	2	2	2		3		4		6	1	6	1
50-59	6	1	5	1	4		2		7		11	2
60-69	5	2	8	2	4	2	12		12	2	15	3
70-79	7	1	5		10		10	2	11	2	14	4
>80	9	6	8	1	8	1	13	4	13	4	18	3
計	30	12	30	4	30	4	41	6	64	13	68	13
死亡率		40%		13%		13%		15%		20%		19%

2023 年 11 月以降、A 群溶レン菌による STSS の届出数の増加が認められており、2023 年は患者 64 人中 41 人(64.1%)、2024 年(23 週まで)は患者 68 人中 47 人 (69.1%) が A 群による STSS と診断されています (図 1~3)。

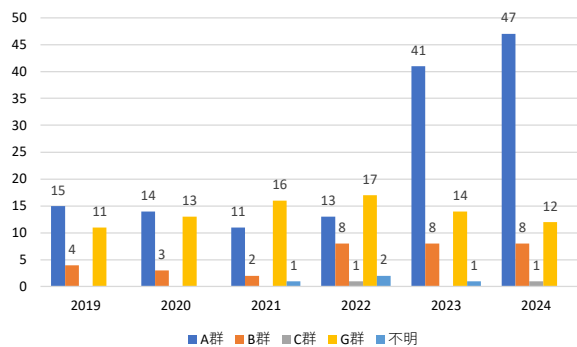


図 1 血清群別届出数

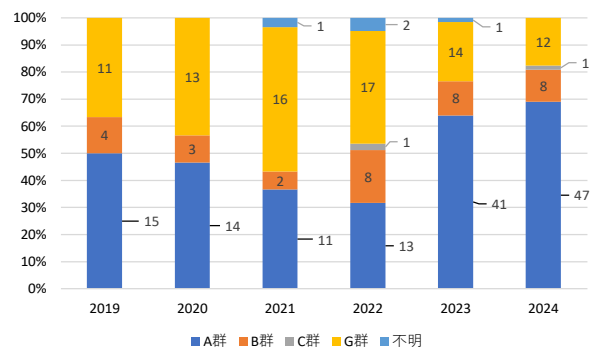


図 2 血清群別届出割合

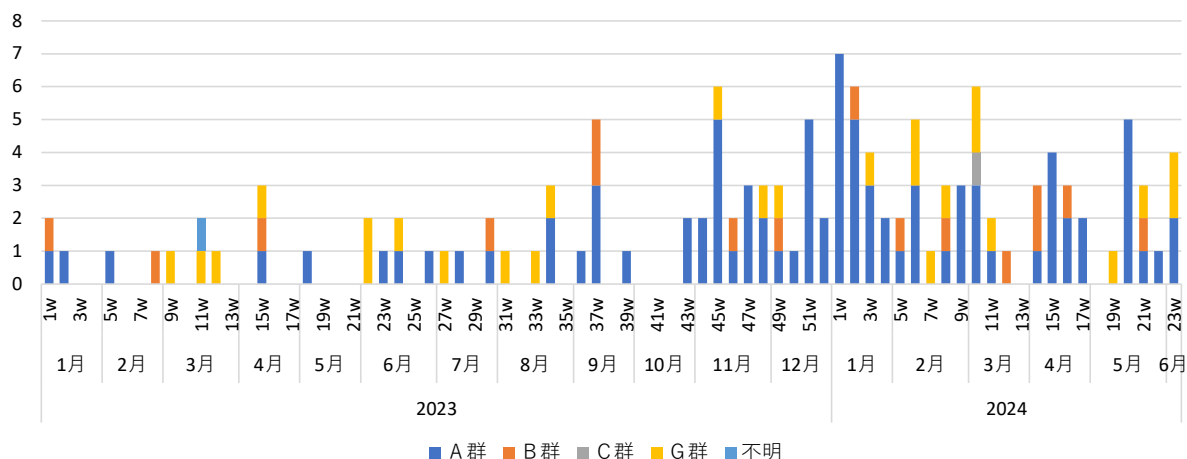


図3 劇症型溶血性レンサ球菌感染症届出数（診断週別 2023年1週～2024年23週）

A群溶レン菌の一種に発赤毒素の産生量が多いとされる M1_{UK} 株があり、分離頻度が増加しているとの報告があります。当所では、医療機関から分与された STSS 患者由来の菌株の遺伝子型別を行っており、2023 年以降、A 群溶レン菌を原因とする STSS 患者から 17 株が分離されています。2019 年から 2022 年までは症例数が少なく分与株数も少ないため比較は困難ですが、M1_{UK} 株は分離されていませんでした。図 4 は当所で STSS 患者由来の菌株の遺伝子型別を行った結果を診断月別に示したものです（2024 年 5 月 31 日現在）。患者発生が増加した 11 月以降、M1_{UK} 株が 15 株、M1_{UK} 以外の株が 17 株という結果でした。

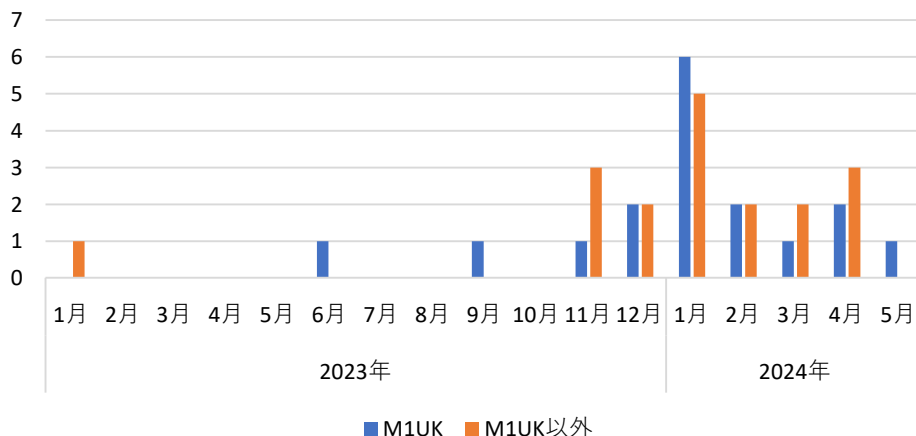


図4 埼玉県衛生研究所における A 群溶レン菌の遺伝子型別検出状況（n = 35）
（2024 年 5 月 31 日現在）

溶レン菌は常在菌で、無症状で咽頭に保菌している場合もあり、感染から STSS 発症の過程がはっきりしておらず、患者数増加の原因は明らかではありません。小児科定点把握疾患である A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行と STSS 患者の増加は、同じような動向を示しています。咽頭炎患者の増加が STSS 増加の原因の可能性もありますが、因果関係ははっきりしておらず、今後もその動向に注意が必要です。

STSS と診断した場合には、速やかに発生届を提出し、患者情報の収集にご協力いただきますようお願いいたします。

感染症発生動向調査
2024年

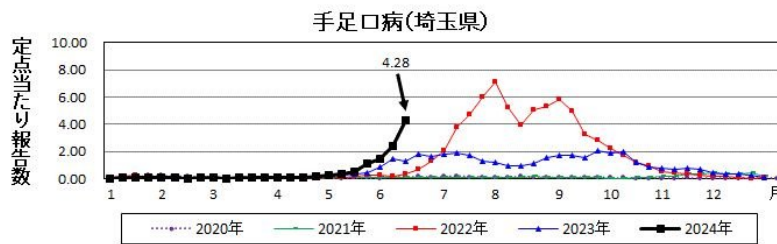
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第24週

2024年第24週（6月10日～6月16日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	↑	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	↓	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン